

2013 シーズン 第 3 回 応援向上委員会 議事録

日時：2013年2月17日 18時～20時20分

場所：ひとまち交流館 京都 第5会議室

●前回の会議で確認する予定であった小旗の件について

- まだ確認ができていない。確認出来次第、どこかのタイミングで報告予定。それまでは前回話していた通りアウェイメインでの使用で考える。

●メールでの提案

- サポーターズシート(以下、サポシ)全体の意見が汲み取られていない(応援の中心部だけの議論になっている)。サポシ全体に対するアンケート等をしてみてはどうか？
- 今までサポシ全体でのアンケート形式による意見募集というのはしてこなかった。一度意見を募るってみるのもいいのではないか。
- 紙媒体での意見募集だと、印刷や配布回収等のマンパワーが必要となるが、一度行ってみるのもいいのでは。
- そういう意見はULTRAS KYOTO(以下、ウルTRAS)にも直接来ていて昨季の途中に話し合いもした。しかし、ウルTRASだけで行うのは経費や労力の上で厳しかった。サポ連で行ってもらえるのであればしてみたい。
- すること自体には賛成だが、内容をどうするのか？質問形態や質問内容をどうやって考えて決めていくのか、が問題。意見を募集しただけで終わらず、それをどうやって集約して今後活かしていくのかも問題。
- アンケートは行う方向で検討していく。まず質問内容や形態等、実施するにあたって課題となることをこれから考えていく。実際の実施時期は未定。

●サポシにおける応援場所の議論(前回からの継続案件)

○議論の前に、2/16のサポ連ミーティングにおいて新しい事務局長となられた市野さんからの提案

- 元々、応援場所の議論を始めた際の主旨(なるべく一つに集まって応援の中心部を形成する、旗振りの問題、棲み分けの問題)を考えた時に、前回の議論から続けると、現状と同じく結局空いたスペースにあまり声を出さない人達が埋まってしまうことになり本来の目的が達成されないのではないかと懸念する。それなら、本来の主旨(目的)を目標として設定したままで、前回判明したバナーの問題等を議論していきながら一定の解決(方向性)や全員の意識が一致してから移動や中心に集まる行動をすればいいのではないか。
- この意見と前回までの議論を踏まえて、各自の意見を再度伺う。

○議論内容

- 前回の議論の中で2年やってみて効果がなかったのが移動してみてもという意見があったが、この2年で何がダメだったのかをウルTRASで話し合ってみた。今のままで改善できることもあれば、移動しないと改善できない内容もあると思う。移動しないといけない内容ばかりであれば移動すべきだと思うが、そもそも南スタンドから北スタンドに移動する時に、各サポーターチームの場所を1ブロック単位で決めたことが、この2年間がダメだった原因の一つでは、と考えている。前回の議論までの内容(=各サポーターチームがブロック単位で場所を決める)のまま移動すれば、結局こ

の2年間と同じことになってしまうと考えている。もう少し慎重に議論を重ねるべきと考えている(現在の問題点の議論と移動する意義について)。

- 何故移動するのか、が曖昧になってきている。皆の中で「こういう理由で移動するんだ」という理解が固まっていないように思える。棲み分けをするために移動を試みようという話が、2年やってダメだったから移動するという理由に替わっているように感じる。本当に移動するならば、理由(目的、意義)をしっかりと一つにまとめて誰が周知しても同じように答えられるようにしないとイケない。
- 都 UNISON(以下、ユニゾン)でもチーム内で話し合ってみた。ウルトラスとほぼ同じになるが、当初移動の議論をした際の主旨と今の議論の主旨が変わってきているように思える。それなら移動のメリットが感じられない。現状、この議論で時間を取られるよりも開幕まで時間が無いので他の議論をするほうが有効だと思う。
- 前回までの議論だと棲み分けの意義がぼやけてきている。メリットも感じられない。他の理由として、スタンドでフラッグを振ることや、声を出して応援している人が分散している現状を一つに集める、ということがあったが、それも無理となると移動するメリットはかなり薄いと思うし、場所を移さないほうが混乱も起きない。
- 選手から聞いた意見。京都の応援がまとまっていないと感じる。応援に対し熱いサポーターがいることは理解しているが、その場所や声がバラバラの印象を受けている。中心となる場所もあまり分かっていない。
- それを踏まえて、サポーターチームがブロックごとに集まるのではなく、特定のブロックを中心に集中して集まることがまとまった応援や声の一つにして届けることができるのではないかな。
- 選手から見てそのように受け取られているのであれば、そもそも応援する意味も含めて考えないといけない。どこで応援するにしても、現状(サポーターチームがブロック単位で場所を取っている)からもう一つ集まった方向で考えるべきなのでは?これは今季の開幕に合わせるとかではなく、全員が同じ思いを共有し賛同してから動くべきことだと思うので、もっとお互いが会話をし理解をしていきましょう。
- LOUDNESS-KYOTO(以下、ラウド)は移動するのであれば意見があったが(移動自体に抵抗があった)、移動しないのであれば特に意見はない。
- CLUB 西京極(以下、クラ西)は、今後今より中心部に集まる場合、声を出すことはするが飛んだり跳ねたりは年齢的に厳しい。飛ぶ跳ねるも含めて中心部に集まる理由になるのであればクラ西はすごく厳しい。クラ西のコンセプトとして、応援に興味ある人等を中心部に送っていきたいというのがあるので、中心部に固まってくれとなるとそのコンセプトと相反することになるので少しやり辛い。
- もちろん全てのサポーターチームに中心部に来て欲しいということではない。各チームごとの考え等があるので必ずしも、ということでもない。集まっている中心部の端っことかでも全然構わない。中心部の主旨を理解していただいた上で各チームの場所を決めてもらう方向で良いと思う。
- クラ西は、立って応援している人達と座っている人達の境界線くらいで頑張っていきたいと思っている。これは KYOTO HOLIC も同じ考え。境界線にサポーターチームがいれば周りを取り込みやすいのではないかな。

○まとめ

今回確認した諸問題(バナーや旗等)も含めて、中心部の応援は今後まとまっていく方向を目指して議論を進めていく(意見や提案があればいつでも受け付けている)。それまでは、昨季までと同じ場所での応援となる。

●コールリーダーの立ち位置及び周りの位置確認

- 試合の流れに応じた応援をすることを重視して、昨季よりもコールリーダーの立ち位置を少し上(3,4段程度を予定)に上げる予定(その下にドラムを配置)。
- ユニゾンは場所がどこであっても最前列で応援するスタイルは変わらず。
- ラウドと SANGARIANS(以下、サンガリアンズ)も場所は変わらず。リードも立てる予定。
- 西京極 JODANS(以下、ジョーダンズ)も基本場所は変わらず。若干リードの位置が横に動くかも。

●開幕戦(及びアウェイ関連)について

- ・ 決起集会を行いたい
- ・ 前回議論したが、アウェイ試合の時に応援場所等の事前打ち合わせをしようとなっていたが、開幕の打ち合わせを先にしておくか？
- ・ アウェイの場所も全て先に決めるのか？それはおかしくないか？ホームならシーズンパスの先行入場ありきで話すのは分かるが、アウェイは一斉入場で入るのに場所を向上委員会で決めましたと言っているのか？
- ・ いや、決起集会の話ではないか？
- ・ 決起集会も含めてスタンドも前回議論したようにどこから声を届けたらいいかということ踏まえておよその場所を先に話したい。
- ・ 俺のイメージだと一般の方を対象に応援したい方はこの辺に来てくださいねという意味での事前の話し合いだと思っている。
- ・ 僕が(前回)言ったのは、結構アウェイって場所が決まってないから、バラバラになるんじゃないかと。それならこの辺で固まって応援しようと思ったほうがどこで応援するか分かってない人に対して呼び込みもしやすい。
- ・ 先に決めたほうがいいが？それとも開門と同時に場所取りをすべきか？→よく分からないから進めてもらって構わない
- ・ 開幕の万博を例にすると、アウェイエリアの中でゴール真裏寄り(緩衝帯に近いほう)に集まるのか、反対のメインスタンド寄りに集まるのかをある程度事前に告知することにより応援したい方を集めやすいのではないか。
- ・ 今後のアウェイは基本当日に決めることになるが、開幕はそれなりにチケットも売れているようでしたくさんの人が来るなら事前にある程度の位置決めをしたほうがいいのかと思う。もちろんそんなこと先に決める必要が無いということであれば、それで全然構わない。
- ・ 今まで位置決めをしていなくて問題になったことはあったか？
→応援の場所がバラけてしまって固っての応援が出来ていなかった(例：味スタや富山等)。アウェイでも棲み分けが出来ず応援メインの人と観戦メインの人が混在していた。
- ・ コールリーダーがどの辺に立つかは先に決めておいたほうがいいのか。そこだけ決めておいてあとは入場してから各サポーターチームが決めればいいのか？
- ・ 当日に話し合いをすれば大丈夫と思う。昨季もウルトラとユニゾンとかは事前に話し合いをして場所を決めていたから、この会議で細かく決めなくても良い。前回議論した開門前の打ち合わせで決めていけると思う。
- ・ 各サポーターチーム間での連絡は事前の打ち合わせで大丈夫だが、それ以外の個別に来場される方への周知はどうする？呼びかけとかをしたほうがよいか？
→殆どの場合、応援の中心部が先に入場するから、席取りの状況を見て判断してもらえたらそれで大丈夫だと思う。
- ・ 開門直後はバナー掲出等で荷物だけがあったりすることが多く、それだけでは判断しにくいと思われるので一人だけでも声掛け担当がいたほうがいいのかと思う。
- ・ 昨季だと事前の作業が一通り終了したあとに個別に集まって欲しい旨の呼びかけはしていたが、入場時に先に呼びかけたほうがいいのか？
→一度場所を決めてしまうと腰が重く動いてくれないので最初に声掛けをしたほうがいいのかと思う。
- ・ 時間に余裕がある時は声掛け等もできていたが全ての試合においてできていたわけではない。
→それを常にすることにより今までよりも応援の真ん中に集まってきてくれると思う。
- ・ 開門前に事前に打ち合わせをしたあとに、待機列に並んでいる方に対してアナウンスしたほうがいいのかと思う。
- ・ 今季は開門前の待機列や開門直後等にだいたいどの辺で応援するのかということアナウンスをしていく。
- ・ このままだと声掛けの仕事はまたウルTRASだけがすることになりかねないのでサポ連としての活動として動いてほしい。そういうことが曖昧だったから昨季までの流れみたいなのがあったと思うのではっきりして欲しい。
- ・ 特定の人がいつも案内するのではなく、事前の打ち合わせで決まったことをその時に居た誰かが案内していく。誰が案内するかはその場で決める。

- 決起集会では新しい応援歌の練習もする。開門してからにするのか？
 →開門してから行う。場所は？
 →スタンドの裏側。階段横の広い辺り？売店とかの狭いほう？ガンバファンも通るのではない？ガンバファンのことはもうあまり考えなくていいのではない？喫煙所に近い広い辺りのほうがいい？詳しい場所は当日決める。
- 決起集会の案内はサポ連として案内して欲しい。時間は？開門が14時なのでバナー掲出作業等を考慮して14時45分。
- 選手入場時のイベントは何も無しでいい？(例：旗を持ってきてほしい)
- 前回の議論でバンデーラのエリアも選手入場時はマフラーを揚げると決めたので、その周知の意味も含めて開幕戦も全員でマフラーを揚げてみてはどうか？
- マフラー掲揚だとバンデーラエリア以外の人は特に変わらないが、事前の案内をする時にマフラーを持ってきてください等の一文を入れることもできるが入れたほうがいいのか？→入れる方向で検討する。
- ユニゾンはタオルマフラー掲揚と別で個別の活動を行う予定(周囲の方にも協力してもらう)なので、明文化されると近くに來られた方が困惑するかもしれない(最終的には個人の判断に任せる)。
- 開幕のためにマフラー持参の呼びかけを明文化したら、個別にゲートフラッグ(以下、ゲーフラ)等を製作している方に強要していることになる。
 →別にマフラー以外に掲揚することは構わない。あくまでもバンデーラの代わりに、という意味での告知。文章の書き方の問題？
 →それならマフラー持参をお願いするのはおかしいのではない？何でも明文化していくと自由さがなくなって堅苦しい。確かに細かいことまで決めなくても。
 →何でも決めるのはおかしい。ゲーフラやフラッグを作ってきた人はそれを掲揚したらいいんじゃないか？
- 個別に旗を揚げたりする方はそれぞれ考えていることをしてもらえればよい。明文化することにより各自の行動を制限するのではなく(書き方次第だとは思うが)特に何もしない方への呼びかけとして行ってみるのはどうか？
 →そんな人は議事録を読まないと思う。開幕だからサポ連のサイトを見てから來る人がどれくらいいるのか？
 →もちろん数は少ないのかもしれないが、そういうことが周知に繋がるのでは？
- 今後も、各試合ごとに何をするのか等をこの会議で決めるのか？
 →ホームの試合前のミーティングが最終決定する場であるということが2/16のサポ連ミーティングで明文化されたからここで何を決めようが覆される。
 →この会議はミーティングで承認をもらうためのたたき台を作る場という認識。
 →では開幕戦の決起集会も覆される可能性がある？
 →サポ連のミーティングはホームでしか開催されないから開幕戦のことは決められない。決起集会なんか來たい人は來るし來ない人は來ないからやればいい。
 →それならサポ連で案内するよりも各サポーターチームからの案内のほうがいいのか？
 →それこそ現地での案内でいいのではない？ホームページ等で告知するよりも開門前の待機列の方は絶対に入場する方達だから、その方々に案内するほうが有効。
 →先に案内すると、それを見て早く來てくれる人がいるかもしれない、というメリットがあると思う。
 →待機列が解消されてからの案内はどうするか？
 →スタンドで案内すればいいと思う。現場のその時の判断で考えればいいと思う。
 →仮に大雨降ったりしたらどうするのか？だからいちいち明文化するのはおかしい。その時でないと判断できないことのほうが多いんだから(現場での判断が第一優先)。
 →決定という形でなく、こういうことをやろうとします程度の案内であれば、それを期待したり楽しみにして來てくれる人に対して訴求できると思う。
- タオルマフラーの貸し出しについてはどうなっているのか？(今回マフラーの提案が出たことに関連する確認)
 →活動されてた方が現状(100本程度用意していても3,4本程度の貸し出ししかない。小旗の活動と重複したりする)を踏まえて再度意義について再考された結果、現在休止中である(ミーティングで

報告済)。

→集めたタオルマフラーは寄付の形で集めたものであり、活動されていた方が責任をもって管理している(約100本程度と思われる)。

→クラブ側の立場として考えた場合、以前のマフラーを再利用されるより新しいマフラーを購入してもらったほうが少しでもクラブの資金に繋がると思うので当初から反対意見もあった。

→活動自体は個人の活動としての認識でありサポ連の活動ではなかったから、サポ連として積極的には関与していなかった。

- 最終的に決起集会も個別に案内することにするのか？

→今までも個別に案内してきたし、決起集会の開催許可を得る必要も今までなかったし決起集会自体に反対されることもなかったから個別に行くことでいいと思う。

→基本的な形としてこれからは会議やミーティングで議論することになるのでは？

→そういうルールとするなら、開幕の決起集会は(ホームの)ミーティング前に行くことになるから出来ないことになる。おかしい。

→ミーティングが開催できない時は事務局長の権限で判断できるから、事務局長に許可をもらえばいいのではないか。

●ホーム開幕について

- ホーム開幕戦については何か考えている？

→今季からアンセムを周知していきましょうという話だったので、それに集中したほうがいいのでは、と考えていた。

→クラブ側も来場者に配布する用紙に歌詞を印刷して歌ってもらえるようにと聞いていたのに、歌詞の内容について返答期限を自ら設けたにも関わらず期限を過ぎてもまだ返事がない。

→※以前アンセムの件でクラブ側と話し合いをした際、歌詞の製作にクラブ(選手)側の意向も入れたいという提案があり、どんな歌詞を入れたいかという返答を待っている状態。

→サポーターと選手が一緒になって歌詞を考えるという主旨になったが未だ返事がない。

→※出席者の中で現在の状況を知る方から、当初キャンペーン前に返事をもらえる予定だったのが20日になっている、との情報。

→仮に20日に選手が入れて欲しい歌詞の内容が分かったとしても、そこから歌詞を再考したりすることを考えると開幕には厳しいのではないか。

→※聞いている限りではチーム側もアンセムのために試合前の運行スケジュール内で時間を用意しているはず。アンセムがダメだった場合、その空いた時間の使い方等もクラブ側にどうするか聞かないといけない。

→アンセムの周知で進める前提なのであれば、まずは20日予定のクラブ側からの返信を待つとその内容次第で適宜対応するしかないと思う。

→※本会議の出席者が聞く限りでは、歌詞の見直しの時間やそこからの告知期間等を考慮すれば、今季の開幕は厳しいのではないか、というアンセム担当者の意見。

→仮にアンセムをしない場合の代替案は特に考えていない？

→京都マラソンとの兼ね合いでコレオグラフィ(以下、コレオ)のようなこと(事前にスタジアムの座席にシートを貼付する等の作業)ができないので、そのような作業が不要な限られたことしかできない。

→現時点では、クラブ側が(全)入場者に対してコレオにも使用できる用紙を配布すると聞いている。間に合うのであれば、その用紙にアンセムの歌詞を入れて入場者に周知したい、というクラブ側の意向。

→※ただ、コレオに使用するという目的に参加せず記念に持ち帰るだけの観戦者が多いので、その対策を考えていると聞いている。

→クラブ側が用紙を配布するのであれば、そこに歌詞を載せてもらえるかも、という段階？用紙の配布は既に決定済？

→用紙配布が確定として、アンセムだけが間に合わないのであれば、選手入場時に使用している既存曲でも構わない？その場合いつまでにクラブ側に言えばいい？

→近日中にスポンサーパーティーがある。もしかしたらその場で開幕は急遽タオルマフラーの配布等に変更される可能性があるかもしれない。それが過ぎてから確定すると思われる。

→事務局長を通じて、クラブ側に開幕イベントの確認を試みる。その上で、アンセムも関連してどのように対応するか協議し皆さんへ周知する。

→アンセムが間に合わない場合等は選手入場時の既存曲を載せてもらう予定

●ウルTRASが今季どうしていくか？

- 昨季リードがバラバラであったり試合前の周知が徹底できていなかったりということがあったので、ウルTRASが今季どうしていきたいか、という方向性を知りたい
 - 今季は試合の流れに沿った応援をより意識する。そのためにコールリードの位置を少し上げたりすることを考えている。リードも昨季の二人から新たな二人に替わる。試合前の周知(今日はどういう応援をしていくか等)も徹底できていなかったなので徹底していきたい。周りの各サポーターチームとの連携も密にしていきたい。
 - 試合の流れに沿った応援とは例えばどんなことを考えているのか？
 - 例えば攻撃時にはこの歌、という具合に考えているが、人により場面場面ごとにこんな歌を歌いたい、という考えが異なる。劣勢時はコールを増やしていきたい。攻撃から守備に移った際に歌の切り替えが出来ていなかった。その理由はリードが試合をしっかりと見れていなかった。そこは改善していきたい。
 - リードしたことない立場からの質問だが、リードが試合を見るものなのか？分担とかできないの？
 - 昨季まではリードが試合を見る役も煽る役も両方担っていたが、今季は試合を見る役は(リードに立つ者以外の)別の者が担当して改善を図ってみる。
 - 選曲やコールを入れるタイミングは、その試合を見る役の人の担当？それならその役の人から歌い出したらいいのではないか？見る役からリードに伝えるとズレが出るから、見る役がそのまま歌うほうが試合の流れに対応できると思う。
 - リードというのはリードの技能(歌い出しの音程がズレない等)も必要だと思っている。リードがバラバラの音程で歌い出したりすると周りが困惑する。昨季がそんな感じであったと感じている。
 - ウルTRASに来る意見。リードが試合を見つづ歌い出しをするのは全然構わないがリードが試合を全然見てないのに歌を指示されないといけないのか。
 - そのような意見を受け改善するために、リードと別に試合を見る役を試行してみる。
 - リードが応援しているクラブもたくさんある。前(ピッチ)を向いたままリードしているクラブがたくさんある。ずっと後ろを向いて歌い続けているリードは京都くらい。リードというくらいだから歌い始めだけを伝えるだけ(あとは試合の流れを見る)でいいのではないか。
 - そのような意見があるのも知っている。でもリードこそ一番応援しないといけない、という考えの方もいる。
 - それならリードせずに応援しておいたらいいのではないか？
 - そこはそれぞれの考え方があると思う。
 - 例えばサポシの立ってるエリアの端っこのほうだと、リードが後ろを向いて歌い出してくれないと歌い出しから声を出してくれない、という現状もある。応援している方とリードの視線が合うことで、声を出してくれるという効果もある。恐らく端っこのほうだとそういう方が多いのではないかと考えられる。どっちがいい悪いではなく、そういう効果もあることを知ってほしい。
 - もちろんそういう効果も考えてのリードと試合を見る人との役割分担だと考えている。実際に試行して問題点を出して改善していきたい。とりあえず昨季と同じやり方はしない。
 - 実際に試行したことに対する意見はウルTRASに直接意見して欲しい。その内容によってはウルTRASだけでなく全体で考えないといけないこともある。その時はウルTRASから本委員会に提案して全員で考えていきたい。
- 今季リードが替わることにあわせて、90分歌い続ける方向性は変わらない？昨季それまで続けていた、どちらかというと90分歌い続けていきたいという感じに受け取れていた方向性を止めて、歌やコールを短くしてみてもという感じに受け取れたが、それをまた90分歌い続ける方向に戻すのか？
 - 今季も歌やコールは短めにしていきたい。
 - 試合の流れに応じて歌の途中でやめるということを話し合っていたが、それはすごく賛成。ただ、途中で切るけどそのあとすぐに次の歌を歌ってしまうと90分歌い続けることになる。ウルTRASが90分歌い続けるのが良いと思う理念はどこからきてるの？
 - 応援とはしんどいものだという考えが関係してくるのでは？
 - そういうことを聞かないとウルTRASの考えが分からない。
 - ユニゾンも応援がしんどいという考えには賛成。ただリードが90分歌い続けてもそれがしんどいと感じる人は歌わなければいいと思う。それでも自分達は歌い続けるという姿勢を出したい考え方。
 - ウルTRASも何もせずぼーっとする時間帯があるくらいなら、なるべく歌い続けたいと考えてい

る。

→例えば同じ90分歌うにしても、単純に応援歌を歌い続けるのと、間にコールやブーイングを入れながらするのは全然意味合いが変わると思う。

→歌を歌い続けるのではなく、例えば試合の流れに沿ってということ踏まえると歌を歌わないことが試合の流れに沿ってと考えることはある？

→コールを多用したり？

→歌の流れていない試合の状況を観戦者が試合を見て感じ取る雰囲気であったりその時に起こるざわわとした反応を、歌を歌い続けることによってそのようなフットボール特有の感じが消されているように思う。

→現在の京都の少ない声量でその特有の雰囲気が消されているのであれば、京都のサポーターはそこまでサッカーを見る眼がまだ養われていないのではないか。

→そこを叩いていくと(=特有の雰囲気を歌で消していく)、応援がしんどいと感じる人ばかりになってしまわないか？

→逆にその雰囲気を拾えということか？

→応援の方向性として、特有の雰囲気を拾うチャンス自体が無いということなのかという確認

→例えばみんなが怒るような内容の試合があると。そんな時は怒っている意識を歌よりも出してもいいのではないか。仮に前半で試合が決定しているくらい負けていた時は前半の最後のほうは怒りをピッチに伝えるような行動でもいいのではないか。今は喜んでいても怒っていても歌を歌うことになっているから、選手からしたら単に歌を歌われているという受け取り方しかしてくれないと思う。

→怒りながら歌ってみるとかは？

→怒るとするのは負けている状況の時？

→ウルTRASが言っている「応援しかできない」というのはあまり好きではない。叱咤も含めての応援だと思う。激励だけの応援(=応援しかできない)ならラジカセを置いておけばいいのでは。その時々に応じて怒る時は怒り良い時はめっちゃ褒めるということと言わないといけない。今は組み合わせの順番が違うだけで90分歌とコールで過ぎただけ、と受け取れる。ウルTRASはそういう方向でいきたいのかどうなのか、を知りたい。

→ユニゾンはそういうことに関係なく怒る時は怒っている。そこは感性の問題ではないか？

→極端な話、ウルTRASだけ歌い続けてラウドとユニゾンの両サイドが怒っていることもありうる。

→それはそれでいいのではないか？リードが強要するものではないような気がする。逆にみんなが怒っているのをリードがある程度で止める役割はして欲しい。

→リードが歌うとそれを知らない人(=強要するものではないということ)はつられて歌ってしまう。現状は各自で判断する人よりも連れてくる人のほうが多い状況だと思う。だから、感情を出すことを強要しろとまでは言わないが、リードが歌うのを止めることによりそういう感情を出せる人が増えるかもしれないので、止めてみることも大事なのではないか。

→それは確かにあると思う

→そういう時はだいたいイケイケで攻撃している時じゃなく(守勢で)全体的な声量が落ちている時だと思うので、曲を途中で止めたり切り替えたりとかはあると思う。僕の理解しているウルTRASの方向性というのは歌い続けるというかボールウォッチャーになる時間帯を無くしたいのではないか。声も出さず応援もせず後押しもせずただ試合の流れを見ている時間を無くすために歌い続けるという意味で発言していると思う。試合展開に対して怒ったりブーイングしたりするのは各自の自由だと思うし、その結果歌っている声量が落ちれば自然と切り替えをしないとイケないと思うけど、ウルTRASは選手の後押しを優先して歌い続けるのではないか。

→結局90分歌い続ける方向性ということ？

→仮にリードが周りに声を出して欲しいと思っている場面。でも周りは試合展開に対して怒っている。そういう時こそ歌を止めてリードの煽りを入れたらいい。「今、しんどいけど声を出そう」

「腹の立つ試合展開やけど声を出してやろう」という具合に。

→その煽りはもちろん理解できるし煽りまで止めろとは言っていない。声量が明らかに落ちてきていると感じられる時でも歌を止めようとしなない。そこを指摘している。

→声量が落ちてきている時は今季から止めようと考えている。

→確かに言葉で語りかけて気持ちを煽ることは出来ていなかった。反省点として捉えている。何もかも全てを歌から始めようとするからうまく気持ちが伝わらなかったと思うので、今季は意識してやっていきたい。

→せっかくリードは煽りという役割もあるのに歌い続けるだけなのはもったいない気がする。何故トラメガ持っているのか、ということ。周りに話しかけるチャンスがあるのにずーっと歌うだけならあまり意味はないように思える。

→ただそれを求めているなら、今季から交代する経験の浅いリードにいきなり100%を求めるのは難しいと思う。
→もちろんそれは理解している。ただ、どちらの考えをしているのかということと事前に聞いて理解することによりリードに対する見方も変わるし、仮に歌を止めるのが絶対に嫌やという考えなのであれば無理に言わないでおこうというスタンスで接していこうと思っていたから知りたかった。
→嫌だとは思っていない。すぐには無理かもしれないが、できるだけ改善していこうとは考えている。
→この会議に参加している人はあまり思っていないかもしれないが、よく「ウルTRASの言っている勝たせる応援の意味が分からないので説明して欲しい」と聞かれる。
→ウルTRASから勝たせる応援をしましょうと言ったことはない。
→何故みんなそう思っているのか？
→恐らく前任者が言っていたからそう受け取られてしまっているのではないか。
→確かに前任者が主に言っていたが昨季のリードも言っていたと記憶している。
→すいません、それはウルTRASの見解ではなくリード個人の思いとしての発言。
→相手のサポーターに勝つ応援というのはあったと思うが、勝たせる応援というのは理解できない。
→結局、ウルTRASとしては勝たせる応援というのはなし？
→それはない。

- ウルTRASの方向性の確認。以前も聞いたが、一例として京都 vs 仙台戦で京都が4点取った時点で仙台は応援をやめバナーも撤収した。そういうやり方、アピールも一つの方法。
→ウルTRASとしては試合中に応援を完全に放棄することはしない。
→ユニゾンも同意。試合後、選手が挨拶くれば来た時に言うことはすると思うが、試合中は仮に0-6で負けていても応援は続けるというスタンス。
→90分間はなるべく厳しい言い方をせず選手の背中を押してあげる応援をする、言いたいことがあれば試合後に言うというスタンスもありだと思ふ。まずはウルTRASの基本的な考え方をしっかりアピールすることが大事だと思ふ。アピールすることによりウルTRASの考え方と自身の考え方を比べた上で、各自が自分の判断で行動(=ウルTRASの応援に合わせるか否か)してくれるのではないかなと思ふ。
→ウルTRASがどういう思いで試合に臨んでいるか僕達も分かっていない。周りの方はもっとそうだと思う。何故この状況でこの応援をするのか、ウルTRASはこういう考えで応援しています、という主旨を毎試合でなくてもいいから何試合かに一回くらいの頻度で試合前にアピールしてほしい。ウルTRASの考えが分からないのに付いてきてくれただけ言われても、と思っている人もいるかもしれない。みんなをリードしている立場を理解してくれているなら、考えをアピールしてくれることにより皆の心が一つになりやすいと思ふ。
→この流れだとリードが説明したりすることによりリードの負担が大きくなるように思える。今季からリードが交代するがそこまで任せても大丈夫？
→考えとかはウルTRASの代表が説明すればいいのでは？新しいリードが経験を積んで自分で言えるようになればリードに任せてもいいと思ふ。そこはウルTRASで考えたらいと思ふ。今までウルTRASの考えを知らない人が多すぎたから、まずはアピールすることで周りの理解に繋がる。
→今年から考えていく。
→参考までに。ウルTRASの考えとかを紙にかいてスタンドに掲示するのはどうか？

●勝利後のパフォーマンスについて

- 前回の提案で勝利後のパフォーマンスであるオーレオーレについて話があったが、選手を見ていたらやらされている感がある。最初は喜んで一緒にやってくれていたが、段々事務的にタオルマフラーを回しているだけのように受け取れる。もう少し何か考えたほうがいいと思ふ。
→オーレオーレは選手が帰ってから自分達だけでやればいいと思ふ。選手とは湘南が肩を組んでダンスしているようなことができればいいと思ふ。
→選手が楽しんでもらうには選手発信で提案してもらわないといけないのでは？仙台とかは選手発信で考えているはず。以前のことを考えればオーレオーレと一緒にしてくれるようになっただけでも改善しているが、もう一步進めていきたい。
→現時点ではオーレオーレに代わる案は提案がない。すぐでなくとも構わないので提案してください

い。提案があれば議論して、それを選手にも伝えて賛同してもらえれば選手の立場からも発信してくれると思う。

- コーヒーランバの歌を肩を組んで(選手もサポーターも)歌うのはどうか？現在の使い方(得点後に歌う)だとコーヒーランバは試合中にあまり歌ってほしくない。得点後も喜んで長く歌っている間にこちらのピンチになっていることが多々ある。それでもまだ歌っているのは止めたい。得点は嬉しいがキックオフで試合が再開したら試合に集中したい。歌うなら試合後に歌いたい。
→ユニゾンも試合中に歌われても喜べない。しかし勝ってから歌っても盛り上がる歌かどうか疑問。
→試合後にどの歌を歌うか、試合中の得点後からキックオフまでのもっていきかた、について考える。ランバ以外の提案があれば検討する。
- 一番盛り上がるであろうゴールが決まった時に、選手入場時のタオルマフラーと同じくサポシ以外の席種も含めて一緒に何かできれば
→点が入った時はオーレオーレを叩いているのでよければそれにあわせてマフラーを回してもらえたら。
→得点時の喜び方は個人の自由なので特に強要しなくてもいいと思う。
→全員で揃えたほうがいいのか、自由に喜ばばいいのか、ということ？
→喜ぶのは自由でいいのではないか。
→こういうことをするのでよかったら一緒にどうぞ、程度の案内はいいと思う。
→得点後のオーレオーレは得点直後なので入ったことに集中してしまいマフラーを回さないと、とまで気が回らないのではないか。ある程度収まってから回すのはいいと思うが、それだとキックオフ以降の切り替えができないと思う。
→絶対にこうする、と決めず色々考えたことを周知して試行錯誤すればよいと思う。失敗した時もちゃんと失敗したことを周知して次につなげればよいと思う。小さい細かいアイデアでも構わないのでこれからは遠慮なく提案をして欲しい。

●選手紹介について

- 選手紹介をもっと派手にやりたい。オーロラビジョンなら今のままでも良いと思うが、1色表示の電光掲示板なのでサポーターから盛り上げてあげないとスタジアムが盛り上がらないと思う。例として選手と選手の間合いの手を入れるとか。
→DJが交代してから選手紹介の仕方が少し変わって今は合の手を入れない間がない。
→DJとサポーター間での打ち合わせ等は今は行っていない。
→サポーターだけで選手紹介時の盛り上げを考えても限界があるから、DJの方も含めてクラブ側と相談してみるのはいかがでしょうか。
→まずはDJだけで今以上に盛り上げてもらうという方向で話を詰めてもらい、こちらもそれに合わせて全体的に盛り上がるのはいかがでしょうか。
→DJに選手コールを教えれば、バックやメインの方も手拍子くらいはしてくれるかもしれない(=DJにコールリードをしてもらう)。
→複数の提案をクラブに提出してその中から出来るものを選択してもらう方法でもいいのでは。
→DJの方とは誰も会ったことはない？
→今までそういう対応をリードの前任者がしてくれていた。
→実際にDJに関する話をしようと思うと、DJの方本人よりも運営側と話をしないといけなと思う。
- DJが変わったからといって同じ紹介の仕方をしてくれたらいいのではないかと？
→クラブ側の諸事情があるのでは。選手紹介にあまり重きをおいていないと思われる。
→サポーターからクラブに選手紹介を盛り上げるための提案をしてみれば？
→事務局長を通じてクラブ側に話をしてみる。
- 今の選手紹介はBGMがあってそのBGMの長さに合わそうとしているから以前より紹介が短くなったのかも。
→現在は選手紹介が以前よりもキックオフの直前にもってきている。前後の進行を考えて今の長さなのかもしれない。

→そうなるとう全体の進行も含めてクラブ側と話をしないとけけないのではないか。

→チアも含まれてくると思う。

→まずクラブ側の意図を事務局長を通じて聞いてもらう。それを聞いた上でサポーター側から実現可能と思われる内容を考えて提案してみる。

- スタジアム全体を盛り上げるにはサポーターだけの力では限界がある。スタジアムDJの力も必要なので一体にならないといけない。

●シーズン前決起集会のお知らせ

- 2月23日(土) 15時~17時 HUB 四条烏丸店 にて決起集会を行います。
- 一人3,500円。飲み食べ放題。
- 企画は今季コールリーダーをする二人。
- 詳細はウルTRASのブログをご覧ください。
- 抽選会あります。豪華景品が当たるかもしれません。

●プレシーズンマッチ

- 試合前に新しい応援歌の練習を行うので参加してください。
- 新しい応援歌はYouTubeで確認できる(太鼓のリズム入り)。